

# ウメモト インフォメーション

引用 : 日経 / 化学工業 / 燃料油脂 / 新聞展望 / 他 ( ) 2020.11.20

担当者: 榎野

## 全国有力新聞最新部数表

### 令和2年7月度 ABC部数

新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数	新聞社名	販売部数
全読売(合計)	7,498,690	全日経(合計)	2,069,670	上毛新聞	281,029	大阪日日新聞	5,493
〃(東京)	4,563,587	〃(東京)	1,214,753	東新新聞	415,615	神戸新聞	454,067
〃(大阪)	1,931,712	〃(大阪)	534,600	朝日小学生新聞	74,810	日本海新聞	152,359
〃(西部)	598,874	〃(西部)	134,251	朝日中高生新聞	44,774	山陰中央新報	180,026
〃(北海道)	174,959	〃(名古屋)	149,839	読売KODOMO新聞	198,196	山陽新聞	321,343
〃(北陸)	82,190	〃(北海道)	36,227	読売中高生新聞	90,047	中国新聞	558,588
〃(中部)	147,368	全産経(合計)	1,284,320	ニッポン農業	71,974	中国新聞SELECT	25,122
全朝日(合計)	5,013,399	〃(東京)	533,988	日神奈川新聞	305,435	徳島新聞	192,678
〃(東京)	2,857,248	〃(大阪)	750,332	新潟潟報	155,825	四国新聞	168,305
〃(大阪)	1,353,579	北海道新聞	909,458	北日本新聞	399,781	愛媛新聞	193,007
〃(西部)	427,948	〃(東京)	91,414	北陸中日新聞	215,383	高知新聞	156,421
〃(名古屋)	274,196	東奥日報	204,583	北陸国民新聞	84,046	西日本新聞	494,913
〃(北海道)	100,428	東岩手日報	178,762	北陸刊民新聞	30,611	佐賀新聞	121,727
全毎日(合計)	2,117,818	河北新報	409,944	福井新聞	178,174	熊本日日新聞	167,941
〃(東京)	808,472	秋田魁新報	208,043	山梨日日新聞	437,207	大分合同新聞	257,101
〃(大阪)	864,320	山形新聞	191,483	信濃毎日新聞	173,046	南日本新聞	172,169
〃(西部)	351,552	福島民報	225,875	静岡新聞	153,509	宮崎日日新聞	191,048
〃(中部)	72,284	福友新聞	164,784	中野新聞	554,784	南日本新聞	261,392
〃(北海道)	21,190	茨野新聞	122,020	京都新聞	2,085,775	The Japan News	12,471
			284,647		394,763	道新スポーツ	33,645

販売部数と前年・前月部数の比較

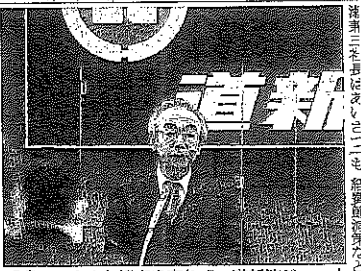
社名	R2-7	R1-7	前年比	前月比
全読売	7,498,690	7,974,170	△ 475,480	△ 74,709
東京	4,563,587	4,840,857	△ 277,270	△ 11,085
大阪	1,931,712	2,094,340	△ 162,628	△ 60,266
西部	598,874	623,986	△ 25,112	△ 1,289
北海道	174,959	186,493	△ 11,534	△ 646
北陸	82,190	86,630	△ 3,440	△ 179
中部	147,368	152,364	△ 4,996	△ 1,250
全朝日	5,013,399	5,450,087	△ 436,688	△ 42,992
東京	2,857,248	3,076,207	△ 218,959	△ 14,784
大阪	1,353,579	1,508,265	△ 154,686	△ 16,284
西部	427,948	467,984	△ 40,036	△ 5,824
名古屋	274,196	294,534	△ 20,338	△ 4,681
北海道	100,428	105,997	△ 5,569	△ 1,129
全毎日	2,117,818	2,345,448	△ 227,630	△ 57,381
東京	808,472	927,792	△ 119,320	△ 17,146
大阪	864,320	909,028	△ 44,708	△ 33,992
西部	351,552	394,818	△ 43,266	△ 2,983
中部	72,284	84,700	△ 12,416	△ 1,458
北海道	21,190	23,210	△ 2,020	△ 2,812
全日経	2,069,670	2,295,521	△ 225,851	△ 858
東京	1,214,753	1,371,528	△ 156,775	△ 650
大阪	534,600	580,344	△ 45,744	△ 1,096
西部	134,251	149,510	△ 15,259	△ 994
名古屋	149,839	160,276	△ 10,437	△ 79
北海道	36,227	37,768	△ 1,541	△ 293
全産経	1,284,320	1,564,878	△ 280,558	△ 23,149
東京	533,988	571,531	△ 37,543	△ 9,746
大阪	750,332	793,347	△ 43,015	△ 18,402
北海道	909,458	945,028	△ 35,570	△ 17,065
北陸	91,414	96,482	△ 5,068	△ 1,008
東奥	204,583	207,499	△ 2,916	△ 18
東岩手	178,762	189,353	△ 10,591	△ 6
河北	409,944	427,029	△ 17,085	△ 8
山形	208,043	203,436	△ 4,607	△ 30
山	191,483	193,613	△ 2,130	△ 511

夕刊部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-7	R1-7	前年比	前月比
全読売	1,892,850	2,092,460	△ 199,610	△ 25,621
東京	1,140,025	1,267,793	△ 117,768	△ 7,748
大阪	630,636	700,138	△ 69,502	△ 17,776
西部	35,155	36,988	△ 1,833	△ 29
北海道	94,257	34,700	△ 59,557	△ 533
北陸	2,427	2,750	△ 323	△ 59
中部	15,063,344	1,675,399	△ 15,068,045	△ 7,257
全朝日	874,201	968,213	△ 94,012	△ 6,398
東京	526,282	583,274	△ 56,992	△ 417
大阪	312,918	350,014	△ 37,096	△ 301
西部	50,578	60,394	△ 9,816	△ 967
北海道	21,984	24,007	△ 2,023	△ 20
全毎日	641,266	679,912	△ 38,646	△ 5,905
東京	306,309	323,848	△ 17,539	△ 2,771
大阪	377,964	391,101	△ 13,137	△ 8,620
西部	38,168	40,184	△ 2,016	△ 120
中部	18,864	21,829	△ 2,965	△ 375
北海道	1,053,825	1,119,556	△ 65,731	△ 11,850
東京	648,874	685,214	△ 36,340	△ 5,758
大阪	294,373	311,904	△ 17,531	△ 2,127
西部	28,817	33,723	△ 4,906	△ 292
名古屋	80,761	89,725	△ 8,964	△ 4,187
全産経	327,852	356,329	△ 28,477	△ 271
東京	327,852	356,329	△ 28,477	△ 271
北陸	77,401	80,344	△ 2,943	△ 30
北陸	346,980	375,063	△ 28,083	△ 3,879
全産経	200,522	203,856	△ 3,334	△ 3
東奥	178,762	189,353	△ 10,591	△ 6
東岩手	178,762	189,353	△ 10,591	△ 6
河北	409,944	427,029	△ 17,085	△ 8
山形	208,043	203,436	△ 4,607	△ 30
山	191,483	193,613	△ 2,130	△ 511

即売部数と前年・前月部数の比較

社名	R2-7	R1-7	前年比	前月比
全読売	132,114	181,221	△ 49,107	△ 3,890
東京	108,498	137,032	△ 28,534	△ 3,534
大阪	986	1,358	△ 474	△ 408
西部	4,657	4,872	△ 215	△ 325
北海道	4,776	4,791	△ 15	△ 740
北陸	15	35	△ 20	△ 6
中部	13,188	13,188	△ 0	△ 306
全朝日	10,183	13,584	△ 3,401	△ 1,094
東京	7,379	9,933	△ 2,554	△ 108
大阪	1,107	1,841	△ 734	△ 82
西部	402	410	△ 8	△ 61
名古屋	65	96	△ 31	△ 112
北海道	1,230	1,284	△ 54	△ 138
全毎日	23,227	23,970	△ 743	△ 1,226
東京	206,309	223,848	△ 17,539	△ 785
大阪	22,657	22,707	△ 50	△ 465
西部	456	736	△ 280	△ 465
中部	34	67	△ 23	△ 11
北海道	480	470	△ 10	△ 6
全日経	47,303	84,469	△ 37,166	△ 1,282
東京	38,332	48,899	△ 10,567	△ 981
大阪	7,762	12,725	△ 4,963	△ 331
西部	854	471	△ 83	△ 83
名古屋	1,095	1,292	△ 197	△ 79
北海道	70	122	△ 52	△ 21
全産経	48,792	53,428	△ 4,646	△ 264
東京	45,197	48,296	△ 3,099	△ 348
北陸	1,095	3,526	△ 2,431	△ 79
北陸	238	303	△ 65	△ 8
北陸	17	25	△ 8	△ 17
東奥	36	39	△ 3	△ 6
東岩手	840	828	△ 12	△ 11
河北	202	652	△ 450	△ 20
山	220	220	△ 0	△ 0



「グローバルな視点を持たず、道新流ジャーナリズムを」と呼び掛ける広瀬社長

今年度の社長挨拶は、99人が参加された。広瀬社長は10月17日に行われた。

今年度の社長挨拶は、99人が参加された。広瀬社長は10月17日に行われた。



## 石油需要は2027-28年がピーク、従来予想は30年 =エクイノール

[オスロ 17日 ロイター] - ノルウェーの石油会社エクイノールEQNR.OLは17日、年次見通しを発表し、世界の石油需要は2027-2028年頃までにピークを迎える、との予測を明らかにした。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、同社の従来見通しに比べピークが2年程度早まるという。

ピーク時期についての見方は各社で異なるが、新たな油田探査・開発計画には重しとなる。

同社は従来、2030年がピークと予想していたが、その可能性は低下したと指摘。メインシナリオとして、2025年ごろまでに石油需要がコロナ危機前の水準である日量約1億バレルを回復した後、2050年には同8800万バレルに減少するとしている。

1年前のメインシナリオは、2030年ごろに同1億0500万バレルのピークを付け、電気自動車の普及が化石燃料への需要を鈍化させることから、2050年までに同9300万バレルに減少するというものだった。

各社が設備投資を控えることによる供給制約も、将来の需要の伸びに影響を及ぼすとした。今年の投資は30%減少している。

さらに新型コロナウイルス感染拡大により人々が移動を控えることが長期的に影響し、原油需要を鈍化させる一方、再生可能エネルギーや電気自動車の普及が加速するとした。

また今後数年間、原油市場は供給過多の状態になるとみられ、石油輸出国機構(OPEC)加盟国を始めとする産油国は減産の必要性に迫られる可能性が高いとしている。

# ウメモト インフォメーション

引用：日経／化学工業／燃料油脂／新聞展望／他( )

2020年 11月 18日 担当者：岩崎

## コロナで大幅落ち込み 回復策探る

〔有機顔料の生産・出荷・出荷金額実績〕 (単位：千、百万円)

	生産			出荷			出荷金額		
	アゾ系	フタロシアン系	合計	アゾ系	フタロシアン系	合計	アゾ系	フタロシアン系	合計
2015年	9,070	8,533	17,603	8,428	7,592	16,020	10,644	13,769	24,413
2016年	9,313	7,851	17,164	8,381	7,446	15,827	10,677	15,324	26,001
2017年	8,639	7,752	16,391	7,955	7,347	15,302	10,027	14,783	24,810
2018年	8,631	7,097	15,728	7,825	7,032	14,857	10,045	16,083	26,128
2019年	8,248	6,895	14,143	7,764	6,082	13,846	10,313	16,455	26,768
2020年1～6月	3,704	2,385	6,089	3,175	2,467	5,642	4,426	6,957	11,383

(経済産業省化学工業統計)

### 顔料

### 1～6月生産2ヶ月減

経済産業省化学工業統計によると、2019年の有機顔料生産量は前年比10.7%減、出荷量は同9.8%減、それぞれ5年連続、6年連続で減少した。今年に入ってから新型コロナウイルスの影響で減少幅がさらに拡大。最大用途である印刷インキ向けが大きく落ち込んでおり、これまでも影響が大きかった塗料向けや、化粧品向けなども軒並み減少した。

有機顔料は鮮やかな発色、高い着色力、また色数の多さから印刷インキや自動車塗料、合成繊維、プラスチックの着色などに用いられている。種類は黄色、オレンジ、赤などをカバするアゾ系と、ブルー、グリーンなどをカバーするフタロシアン系に分けられる。有機顔料の生産量は06

### 印刷インキ向け減少続く

有機顔料の用途は数量ベースで約6割が印刷インキ向けで、塗料が約2割、プラスチックの着色向けが1割強、製品における顔料含有率は塗料が

年比5.7%を越えていたが、原料メカリーの海外生産が進んだことや、欧米のリーマン・ショック後、印刷インキ向けを中心に国内需要が落ち込んだことによる減少が、11年からの好況を軸の反転水準で推移している。10年の生産量はアゾ系が6024千トン(前年比4.4%減)、フタロシアン系が6000千トン(同2.2%減)と減少した。約60%の生産量が印刷インキ向けで、そのうち約16.9%減と減少したが、今年に入ってからほぼ減少幅がさらに拡大。今年上半期(1～6月)累計はアゾ系が5704千トン(前年同期比10.3%減)、フタロシアン系が5385千トン(同23.5%減)の2ヶ月減と大きく落ち込み、連年でも前年を大きく下回ることが確実な状況となっている。

約60%、プラスチック約16.9%、塗料約16.9%、その他約4.4%。有機顔料の需要は印刷インキの動向が大きく影響を受ける。その印刷インキの国内需要は年々減少している。印刷インキの10年の国内生産量は前年比4.8%減の35万7000トン、出荷量は同4.8%減の35万7000トン、それぞれ5年連続、6年連続の減少。出荷金額も同3.4%減の2765億円となった。

印刷インキの減少の要因は、情報媒体のデジタル化の流れのなかで、紙の印刷物が減っていったことで、新聞インキも紙印刷が中心の正版インキの減少が著しい。また、低炭素化を推進するなかで、食品パッケージ用を中心に近年騒動だったPETボトルインキも19年は減少に転じた。ロイヤルインキやジエスインキなどの、その他インキも生産の出荷金額が前年比4.1%減、販売仕向が中心の塗料用インキも減少した。今年に入ってからでは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、減少幅がさらに拡大している。20年上半期(1～6月)の印刷インキ生産量は前年同期比12.9%減の13万5000トン、出荷量は同10.8%減の13万6000トン、生産量、出荷量が前年比で大幅に減少した。また、PETボトルインキも減少した。

インキの減少は、前年比24.1%減となった印刷インキをはじめ、食品包装フィルムなどが主用途のグラビアインキは、単色の需要でオフセットや冷凍食品向けの包装向けなどが拡大した一方、人々の外出が控えられたことでPETボトルフィルム向けなどの需要が減少。トータルではインキ需要は前年比10.1%減となった。PETボトルインキは、持ち直しへの期待もみられるが連年好前年を大きく下回ることが懸念されている。

# ウメモト インフォメーション

引用 : 日経 / 化学工業 / 燃料油脂 / 新聞展望 / 他( )

2020年 11月 18日

担当者: 若崎

【印刷インキの生産推移】(単位: 万トン、%)

年	数量	前年比
2015年	348,087	97.6
2016年	346,913	99.6
2017年	341,964	98.6
2018年	333,465	97.5
2019年	317,573	95.2
2020年1~6月	139,027	87.9

【塗料の生産推移】(単位: 万トン、%)

年	数量	前年比
2015年	1,644,882	101.5
2016年	1,650,406	100.3
2017年	1,674,648	101.5
2018年	1,650,214	98.5
2019年	1,646,074	99.7
2020年1~6月	725,927	88.8

(経済産業省統計)

印刷インキに次ぐ用途先である塗料の需要も減少している。19年の塗料生産量は前年比0.3%減の164万6074トンと横ばいだったが、今年に入ってから、自動車

の世界的な生産調整の影響で自動車用塗料の需要が大きく落ち込み、3月の生産量は前年同月比8.2%減、4月が同11.5%減、5月が25.1%減、6月が14.9%減と大きく減少している。新型コロナウイルスの感染拡大

## 車用塗料や化粧品用も

は、化粧品用の顔料需要も低下させている。化粧品が外出する機会が減ったことで、口紅やファンデ

Colorful  
色でつながる、色でつなげる。  
山本通産株式会社  
Yamamoto Trading Co., Ltd.  
本社: 大阪府大阪市東淀川区 1-15-15 TEL: 06-5225-0101

ーションなどのイメージアップ化粧品の販売が盛り込まれているため、経済産業省化学工業統計によると、仕向け用化粧品のイメージアップ化粧品の20年1~6月累計の出荷金額は前年同月比20.8%減の1,000億4,100万円と、大幅な落ち込みを記録。これにともない顔料需要も低下した。化粧品は収益性が高く高機能化が図れることから顔料メーカー各社が力を入れている分野。化粧品は不況時でも強いといわれ、同用途向け顔料はイメージアップ後も大きな減少はなく、需要は堅調に推移していたが、コロナの影響で大きく落ち込んだ。

# ウメモト インフォメーション

引用 : 日経 / 化学工業 / 燃料油脂 / 新聞展望 / 他( )

2020年11月18日

担当者: 若崎

(色素顔料の輸出・輸入推移) (単位: トン、前年比%)

	輸出		輸入	
	合計	前年比	合計	前年比
2015年	6,936	101.2	21,840	95.2
2016年	6,900	99.4	22,051	100.9
2017年	7,383	107	21,926	99.4
2018年	7,738	104.8	20,910	95.3
2019年	6,841	88.4	18,682	89.3
2020年1~6月	3,059	91.2	8,930	91.3

(財務省貿易統計)

(2019年の色素顔料輸出国)

(単位: トン、前年比%)

国・名	数量	前年比
中国	1,148	109.3
韓国	1352	87.6
インドネシア	311	79.4
タイ	354	34.0
台湾	942	92.5
シンガポール	407	85.6
アジア計	5,097	91.9
ベルギー	505	106.5
英国	65	110.0
イタリア	24	133.3
オランダ	33	60.0
ドイツ	98	80.3
欧州計	858	97.1
米国	694	79.5
合計	6,841	88.4

(2019年の色素顔料輸入国)

(単位: トン、前年比%)

国名	数量	前年比
中国	3,732	82.5
インド	5,500	99.9
台湾	4,400	90.0
韓国	770	61.5
インドネシア	709	85.4
アジア計	15,220	89.1
ドイツ	1,792	95.5
スイス	404	96.2
スペイン	248	65.4
フランス	223	100.9
欧州計	2,927	93.6
米国	412	72.9
合計	18,682	89.3

(財務省貿易統計)

## 輸入はアジア・欧州とも減

内需の減少によって、有機顔料の輸入量も減少した。19年の輸入量は前年比10.7%減の1万8682トンだった。最大の輸入国であるインドから

の輸入が同0.1%減の5500トンと横ばいだったものの、台湾が同10.0%減の4400トンと減少。また中国からの輸入も同国の環境規制などの

影響から同17.6%減の4400トンと大きく減少した。高級品が主の欧州からの輸入も落ち込んでおり、19年は同6.4%減

の2927トン。20年上半期(1~6月)の輸入は8930トン(前年同期比8.7%減)と大きく減少している。顔料製造には大量の水が必要で、原料メーカーは2000年代に中国やインドなど当時規制が緩かったアジア地域

に製造拠点を移し、日本の輸入量もこの頃から増加。輸入量は19年時には50万トンを超えていたが、内需の落ち込みとともに減少。それでも、数年前は力強いレバレッジで比較的安定していたが、19年から減少傾向が顕著となっている。輸出も減少した。19年の輸出は前年比11.6%減の6841トン。数量の多いアジア向けが同8.1%減になったことに加え、欧州向けも同2.9%減となった。20年上半期は同8.8%減の3059トンと減速に低下。アジア向けが同5.0%減の2059トンとなったほか欧州向けも同15.0%減の381トンと落ち込んだ。輸出は90年代まで2万トン以上あったが、日本メーカーの海外生産シフトが進んだことなどで減少し、09年から1万トンを切る水準で推移している。

# ウメト インフォメーション

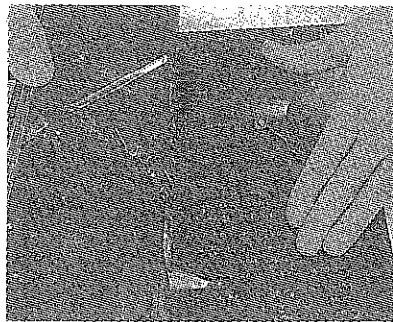
引用：日経／化学工業／燃料油脂／新聞展望／他( )

2020 年 11 月 20 日

担当者：椎野

## 触感マットニス水性品

### 東京インキリサイクル性向上



東京インキは、新たな触感マットニスを開発した。意匠性に加え、触感による訴求力を求める印刷物・パッケージが普及するなか、水性化による環境対応品として提案。エンボスフィルムによるラミネート加工など従来の加工法を代替でき、高意匠の印刷物・紙包材のリサイクル適性向上を訴求する。

刷物向けを想定した「ブールタッチマットニス」を開発した。触感ニスの水性品は業界初という。1回塗りで高級感のあるマット調外観を付与でき、光沢値も従来のマットニスに比べ大きく低減。コーティングによる意匠付与で対象基材の部分加工ができ、全体加工が必要になるエンボスフィルムに比してデザイン自由度が増すという。

従来の触感パッケージは、UV硬化型油性ニスによる盛り上げ印刷、もしくはPP(ポリプロピレン)ラミネート加工による意匠付与が主流だが、1回塗りで高級感のあるマット調外観を付与できる。

工程数を大きく削減できるメリットがある。残インキを再使用でき、既存加工法に比べ生産コスト低減に資するほか、UV

未知なる可能性を探ります。

## セレン化合物

■セレンリサイクル

- 高純度セレン
  - 二酸化セレン
  - セレン酸ソーダ
  - 亜セレン酸ソーダ
  - セレン化ビスマス
- その他ご相談下さい

希少金属リサイクルのバイオニア <http://www.shinko-chem.co.jp>  
 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-7-26  
 新興化学工業株式会社 ☎(06)6263-6485 FAX(06)6263-6464

(紫外線照射設備を持たない事業者でも導入可能。  
 環境対応の面では、水性化による揮発性有機化

合物(VOC)低減を訴求。また、フィルムラミネート代替で印刷物・パッケージの古紙パルプ化が容易な点で、リサイクル適性向上などのニスをすくい上げる。